

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所（圏域）	基本方針
南部地域包括支援センター （南部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人元気寿会の基本理念「幸せの人生を送ろう」のもと、その方の立場に立って考え行動することを実践する。 ・ 地域住民や関係機関と連携し、地域のネットワーク活動を推進していく。 ・ 支援を必要とする高齢者を早期に発見し、適切な支援、継続的な見守りを行い、高齢者に関する問題発生をできるだけ未然に防ぐことができるようにする。
小牧地域包括支援センター （中部・西部）	<p>地域住民と介護等の専門職と地域包括支援センターがいっしょに考える機会を設けるとともに、高齢になっても住みやすい地域づくりを住民が主となって促進することができるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西部圏域では、高齢の単身者や高齢世帯の割合が他圏域よりも低く、家族と同居している高齢者が多いと言えるが、同居故の課題（身体的虐待や放置放任）も目立つようになっている。また、同居していても介護力の低い世帯もあり、同居世帯の介護者への支援を検討しなければならないと考える。 ・ 中部圏域では、大規模な集合住宅が多くなり人口は増えているが、集合住宅特有の「戸建て住居よりも生活の様子が見えにくく、外から入りづらい」環境になっている。その上、高齢化率は他圏域より低いものの高齢単身者の割合が高い。 単身高齢者が不健康状態に陥ると、本人ができなくなる生活上の必要なことを、家族ではない誰かが支援しなければならない一方で、近隣の助け合いを求めにくい環境になりつつある。このような状況において、地域の課題解決力を高められるように働きかけていく。
味岡地域包括支援センター （味岡）	<p>味岡圏域は昔から根付いた地域と新しく移り住んだ地域、区画整理により世代交代しつつある地域と様々であり、ひとり暮らし高齢者世帯・高齢者のみ世帯、生活保護受給者が多く、大きな集合住宅が2ヶ所ある。</p> <p>地域の特性、高齢者を取り巻く環境に配慮し、地域の課題を総合的にアセスメントし、住民・関係機関等と共有することで、必要な社会資源の開発・維持に努め、介護や生活の連続性を尊重、重視した地域づくりの重要性を意識し環境づくりを行う。</p> <p>外部研修会の参加やセンター内での勉強会等を定期的に行い、情報の共有を行い相互の向上発展に努め専門性を高める。</p>

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所（圏域）	基本方針
篠岡地域包括支援センター （篠岡）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成り立ちの違う二つの地域の実状や地域の資源を知った上で、どんなささえあいの協働が可能かを模索する。また民生委員やボランティアの方々との信頼関係を基に課題解決のための資源開発に取り組む。さらにサロンや相談会を通じて住民との関係づくりをすすめ、地域住民の連帯による地域力の向上を目指す。 ・ 認知症の方や家族が地域で共に暮らしていけるよう、住民、専門職と一緒に考えそれぞれが主体的に役割の持てる居場所を立ち上げる。
北里地域包括支援センター （北里）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北里圏域は市内で最も高齢化が進んだ地区を含み、一人暮らし、高齢者世帯も増加している。地域の課題を住民とともに共有し、自助、互助、共助による支援を勧め、小牧市を始め適切な機関に地域課題を示し、社会資源の開発や地域づくりの意識を持つ。 ・ 高齢者やその家族が地域において、尊厳ある生活を送ることができるよう、地域住民や機関と連携し専門的支援を行う。また、土地柄や伝統に配慮し、地域特性を理解しつつ地域と関わり、地域にとって重要な役割を担っていく意識を持つ。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所(圏域)	総合相談支援事業【①総合相談業務 ②実態把握 ③ネットワーク構築】
南部地域包括支援センター (南部)	①・新たな相談の窓口として、地域住民への案内チラシを作成し住民に配布する。 ・身近な場所で気軽に相談できる機会を提供するため、地域の催しへの参加や建物内での活動の場において介護相談を随時受けていく。 ・「地域包括支援センターだより」を年3回発行地域住民へ回覧し、相談窓口として広く知っていただく。 ②・全民生委員宅(23名)を訪問し、困りごとなど地域の実態把握を行う。 ③・民生委員・児童委員連絡協議会、ふれあい・いきいきサロン、区長会などの機会を捉え、顔のみえる関係づくりを行う。
小牧地域包括支援センター (中部・西部)	①・社協だよりに“小牧地域包括支援センターふれあいだより”を掲載し、相談機関であることや介護予防等に関する啓発をおこなう。(年4回) ②・地域包括支援センター事業の理解促進、連携の強化、地区での高齢者に関する問題等の共有を目的とし、中部地区及び西部地区の民生委員連絡協議会終了後に、民生委員と当センターとの意見交換会を実施する。(中部地区：年5回、西部地区：年9回) ③・小牧市高齢者等見守りネットワーク事業協力事業所を訪問し、個別に情報を交換する。
味噌地域包括支援センター (味噌)	①・住民に身近な場所で気軽に相談できる機会を提供するため、介護相談コーナーを老人福祉センター野口の郷において月1回、大垣共立銀行田県支店において隔月で開催する。また、地域のニーズに応じ随時介護相談コーナーを検討、開催する。 ・地域での出前講座、市のイベントの機会に、地域包括支援センターのPRを行い、市民に相談窓口として広く知っていただく。 ・味噌地区へ包括PRと地域の情報発信のための便りを適時発行する。 ②・市と情報を共有し高齢者世帯や独居高齢者等の把握を行う ③・区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ふれあい・いきいきサロンなどの機会を捉え、地域の実態把握や顔のみえる関係づくりを行う。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所(圏域)	総合相談支援事業【①総合相談業務 ②実態把握 ③ネットワーク構築】
篠岡地域包括支援センター (篠岡)	<p>①・地域住民の身近な相談窓口として気軽に相談できるよう、老人福祉センター他、地区の会館を利用して、現在毎月1回実施している2ヶ所での井戸端会議を他地区に1ヶ所増設し、住民のアクセスのし辛さをカバーする。</p> <p>②・生活実態の特に見えにくい2つの県住(古雅・光ヶ丘)を含めた集合住宅の情報収集について、サロンや相談会を活用し、また積極的に戸別訪問を行う。</p> <p>③・周辺地域にある関係の弱い2地区(高根・野口)に対して、講座や相談会の設置など具体的に入り込んでいく。</p>
北里地域包括支援センター (北里)	<p>①・住民に身近な場所で気軽に相談できる機会を提供するため、小針の郷において介護相談コーナーを月1回開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北里地域包括支援センターゆうあいだよりや、イベントの機会に、地域包括支援センターのPRを行い、市民に相談窓口として広く知っていただく。 <p>②・市と情報を共有し独居高齢者の把握を行う。</p> <p>③・民生委員・児童委員連絡協議会、ふれあい・いきいきサロンなどの機会を捉え、顔のみえる関係づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者の課題に対して、専門職や専門機関の立場の取り組みについて意見交換できる専門職連携会議を企画する。 ・地域における小学校区単位で行われる「ふくし座談会」に出席し、地域住民との課題の共有、解決への取り組み、情報の交換等を行い、ネットワーク構築をすすめる。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所（圏域）	介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務【④介護予防に関する啓発及び把握】
南部地域包括支援センター （南部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ定例会、ふれあい・いきいきサロン活動に出向き、介護や認知症の予防に関する講話や説明を行う。 ・ 運動・交流の場の拠点作りの構築、拡大に努める。 ・ ボランティア活動者と連携し、小牧南部地域に密着した介護予防が地域により展開できる仕組みづくりを支援する。 ・ 介護者の支援に努め、家族介護支援事業を実施し、介護方法などの指導等必要な事業を実施する。
小牧地域包括支援センター （中部・西部）	<p>○短期の介護予防教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに開催していない区を対象に、当センター職員等が主導で、月1回5カ月間の短期介護予防教室を開催する。（年度内開催目標3区） <p>○介護予防活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短期介護予防教室終了後は、地域住民主体での『集いの場（介護予防教室やふれあい・いきいきサロン）』が実施されるように支援する。（年度内目標3ヶ所） ・ 既設のふれあい・いきいきサロンや、各地区での健康展（保健連絡員主導での開催）に出向き、“出張介護予防相談会”として、介護予防に関する相談をおこなう。（年度内目標8カ所）
味岡地域包括支援センター （味岡）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ定例会、ふれあい・いきいきサロン活動に出向き、健康維持・増進につながる講話及び実技指導、介護・認知症の予防に関する講話及び認知症予防ゲームの普及啓発を行う。 ・ 運動・集いの場の拠点作りの構築、拡大に努める。
篠岡地域包括支援センター （篠岡）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブ定例会、たまり場に出向き、介護や認知症の予防に関する講話や説明を行う。 ・ 運動・交流の場の拠点作りの構築、拡大に努める。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

資料3

事業所（圏域）	介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務【④介護予防に関する啓発及び把握】
北里地域包括支援センター （北里）	<ul style="list-style-type: none">・老人クラブ定例会、ふれあい・いきいきサロン活動に出向き、介護や認知症の予防に関する講話や説明を行う。・「ゆうあい健康講座」を定期的を開催し、介護や認知症の予防に関する講座や体操等を行い、運動・交流の場の拠点作りの構築、拡大に努める。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所（圏域）	認知症地域支援推進員の実施事業【①地域での取り組みの促進 ②情報交換や交流の場の提供】
南部地域包括支援センター （南部）	<p>①・認知症カフェを地域住民やボランティアとともに立ち上げ、認知症の方や介護する家族が集いやすい居場所を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する住民主体の取り組みが促進されるよう、認知症サポーター養成講座の受講者に対し、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、認知症カフェの活動促進や見守り活動等を行う人材育成をする。 ・認知症徘徊模擬搜索訓練を地域で取り組み、地域で支える意識付けを図る。 <p>②・認知症カフェにて、家族同士の交流ができるよう支援し、認知症の方や家族の居場所作りをしていく。</p>
小牧地域包括支援センター （中部・西部）	<p>①・認知症サポーター養成講座、または認知症予防に関する説明会を開催する。（年度内11回の開催目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市と市内の地域包括支援センター、及び市社協地域支えあい推進員と協働して、認知サポーターステップアップ講座を開催する。（年度内1回3日間の開催予定） ・認知症サポーターステップアップ講座修了者が、認知症カフェや地区での認知症予防の取り組みに参画できるように調整する。 <p>②・認知症の方が、公的なサービスとは別に地域の中で出掛けられる機会として、また、認知症の介護者が交流できる機会として「認知症カフェ」を設ける。（目標開催回数：中部圏域と西部圏域を合わせて12回の開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護家族交流会を開催する。（目標開催回数：中部圏域と西部圏域を合わせて6回の開催）
味岡地域包括支援センター （味岡）	<p>①・地域住民や企業、小中学生等幅広い年齢層へ積極的に働きかけ、認知症サポーター養成講座や認知症予防に関する講座の開催、啓発に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する住民主体の取り組みが促進されるよう認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、受講者等との意見交換や活動への支援を行い人材育成に努める。 <p>②・介護者の座談会を行う。また、参加者しやすい場となる企画、自主化に向けた取り組みを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの研究及び立ち上げに向けた検討・調整を行う。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所（圏域）	認知症地域支援推進員の実施事業【①地域での取り組みの促進 ②情報交換や交流の場の提供】
篠岡地域包括支援センター （篠岡）	<p>①・認知症カフェのための準備委員会の運営を支援し、認知症の方と介護家族のための集いの場をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館を利用したもの忘れ相談会を月に2回立ち上げ、専門職として認知症について具体的な支援を行う。 <p>②・家族交流会に参加者しやすい場となるように、夕方など開催時間を工夫し内容についてもニーズに合ったものを企画する。</p>
北里地域包括支援センター （北里）	<p>①・認知症に関する住民主体の取り組みが促進されるよう認知症サポーター養成講座の受講者に対し、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、認知症カフェや見守り活動等を行う人材育成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のほか、小中学生等幅広い年齢層へ積極的に働きかけ、認知症サポーター養成講座や認知症予防に関する講座を開催し啓発に努める。 <p>②・家族交流会を定期的で開催する。認知症の人と家族が共に参加者しやすい場となるように企画し、自主化に向けた取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会で外出企画を実施し、認知症の人や家族が共に出かけられる機会をつくる。

平成29年度小牧市地域包括支援センター事業計画

事業所（圏域）	独自の重点取り組み事項
南部地域包括支援センター （南部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との結びつきを大切にし、地域の拠点として地域福祉を推進していくと共に、センター拠点地区との災害、防災時の支援ネットワーク化 ・ 元気な高齢者や軽度認知症高齢者向けに、認知症予防プログラムの実施、自主活動に向けた支援 ・ 住み慣れた地域で最後を迎えられる・終活をテーマとした勉強会の開催
小牧地域包括支援センター （中部・西部）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症高齢者の自動車の運転に関する検討 ・ 社会状況の説明、及び対応策についての意見交換（中部及び西部の両圏域で年度内1回ずつ開催）
味岡地域包括支援センター （味岡）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 味岡地区の医療・介護・福祉の交流会の開催 ・ 元気な高齢者や軽度認知症高齢者向けに、認知症プログラムや認知症予防ゲーム等の説明・実施し、プログラム参加や自主活動等に向けた活動を支援する。
篠岡地域包括支援センター （篠岡）	<ul style="list-style-type: none"> ・ たまり場との目的の違いを明確にしたオレンジネット研究会による認知症カフェを1ヶ所立ち上げる。 ・ 新たに「ささえあい」篠岡協働実践会議を発足させ、具体的な協働による小さな活動を2件立ち上げる。 ・ たまり場を活用して、介護予防体操やコグニサイズを定期的実施する。
北里地域包括支援センター （北里）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症予防プログラムを年1回以上実施し、地域の仲間づくりを支援する。また、プログラム参加者や自主活動グループの交流会を開催しグループ活動の継続を支援する。 ・ 地域の人が気軽に参加できる、集いの場を創出する。 ・ 北里地区における地域密着サービスの運営推進会議に委員として出席し、地域活動の提案や活動の推進に協力する。